

インプット → アクティビティ「1・4・4 改革プラン」 → アウトプット → 初期アウトカム → 中長期アウトカム ▶ インパクト

インプット

ガバナンス強化

人件費 ▶ 教育・留学プログラム実施教員、専門職員、事業補助者

物品費 ▶ 教育研修設備備品、図書

旅費 ▶ 共同学位向け海外調査、海外教員の招へい、派遣プログラム実施

その他 ▶ TOEFL 等 英語試験実施、ポートフォリオ改修費、外国語学習ガイド作成、国際広報誌

運営費交付金 ▶ 人件費、物品費、旅費、事業費

外部資金 ▶ 世界展開力事業、日本留学海外拠点連携推進事業

寄附金-フロンティア基金 ▶ 新渡戸カレッジ支援事業、留学生・国際交流支援事業

4つのシステム(組織)改革

改革断行に向けた体制構築 ▶ G

大学力強化推進本部 HUCI 統括室/外部有識者会議/データ収集・分析を行う総合 IR 室/特命副学長の設置

全学的な教学マネジメント体制の整備 ▶ B D E F H

総合 IR 室の設置/4 学期制導入/新 GPA 制度/科目ナンバリング、シラバス英語化手引作成

人事制度の国際化 ▶ A F

招へい教員制度/クロスアポイントメント制度/年俸制/外国人教職員等の拡大と配置/女性登用

国際対応力の高度化 ▶ C F G H

教育研修センター新設/各種研修の実施

国際広報力の強化 ▶ E

国際広報部署の新設/海外応援団アンバサダー・パートナーの拡張/同窓会拡大/広報誌

「新渡戸カレッジ」による先進的教育の始動 ▶ B C E H

大学院課程の新設/NITOE ポートフォリオ/アクティブラーニング/課題解決型学習/同窓会による教育活動

国際連携研究教育局 (GI-CoRE) による最先端研究・教育の開始/学士課程の国際化 ▶ A B C E F G H

海外トップ研究ユニット誘致/留学生対象プログラムの開設

海外ラーニング・サテライト (LS) の展開 ▶ B C E F I

連携大学の拡大/海外拠点の充実/教育ネットワーク/高い専門性を伴う海外学習

サマー・インスティテュート (HSI) の展開 ▶ A B C E F G I

世界一線級研究者招へい/広大な北海道をフィールドとした実習

4つの教育改革

アウトプット

A 多様性

- ▶ 5 6 7 12 14 15 17 18
- ・外国籍教員数 **2.6 倍**
- ・女性教職員数 **229 人** 増加

B 流動性

- ▶ 4 7 9 10 12 16 17 19 21
- ・外国人留学生 **4,000 人** 達成(通年)、幅広い生活支援
- ・留学経験者の増加、留学奨学金拡充

C 語学力

- ▶ 6 7 9 10 12 17 19
- ・外国語による授業科目 **2 倍**
- ・日本語教育の充実
- ・学生の語学レベル向上

D 国際通用性

- ▶ 4 7 15 16 17 19
- ・科目ナンバリング **100 %**
- ・新 GPA 制度の **全 12 学部** 導入
- ・シラバスの **完全英語化**
- ・教育の国際的認証取得と質保証

E 国際開放度

- ▶ 4 7 8 9 10 11 12 14 17 19 20
- ・4 学期制の **全 12 学部** 導入
- ・入試における国際バカロレアの活用
- ・渡日前入試、入学許可の実施
- ・奨学金支給の入学許可時の伝達
- ・露、北米、ASEAN オフィス新設
- ・国内外同窓会との協働の展開
- ・国際広報の一元化、SNS 等有効発信

F 人事システム

- ▶ 5 6 7 17 18
- ・教員の年俸制適用率 **55.6 %**
- ・テニュアトラック対象教員 **50 人**
- ・国際通用性を見据えた人事評価、採用、研修

G ガバナンス

- ▶ 1 2 3 6 7 15 17
- ・大学将来ビジョン「北海道大学近未来戦略 150」の推進
- ・TOEIC700 点以上の職員 **15.7 %**

H 教育改革

- ▶ 4 7 9 17 20
- ・学生の実質的学びの時間の確保
- ・外国語、AO 試験等を活用した入試
- ・柔軟かつ多様なアカデミックパス

I 国際学術交流

- ▶ 7 12 13 14 17
- ・最先端の国際連携研究教育拠点 **8 力** 所
- ・HSI 海外研究者招へい **100 名**
- ・LS 開講 **60 科目**

初期アウトカム

ガバナンス・システム(組織)

- ① 外部有識者の助言・評価を中長期ビジョンへ反映
- ② データ分析に基づいた確かで迅速な大学意思決定の実現
- ③ 改革実現に向けての全学的な財源措置
- ④ 全学をあげての国際通用性のある環境整備
- ⑤ ダイバーシティに富んだ全学的な組織の実現
- ⑥ 総合的な国際対応力の高度化
- ⑦ 国際的プレゼンスの向上
- ⑧ 国内外同窓会ネットワークの活性化

教育・研究

- ⑨ 「新渡戸カレッジ」による先進的教育の先導
- ⑩ 国際インターンシップの全学波及
- ⑪ 同窓会と産業界による「校友会協働教育システム」の実現
- ⑫ 異分野連携による国際大学院の設置と国際共著論文率の増加
- ⑬ 最先端研究・教育 GI-CoRE 体制の定着
- ⑭ 世界の研究者との学術交流の促進
- ⑮ 共同学位プログラムの展開
- ⑯ 日本と世界をつなぐグローバル人材の育成・輩出
- ⑰ 国際共修の拡大
- ⑱ 多様な教職員の活躍
- ⑲ 学生の流動性向上
- ⑳ 学生の多面的評価、入学選考の質保証
- ㉑ 海外留学支援体制の構築・強化
- ㉒ 自走化を見据えた自己収入の拡大

中長期アウトカム ▶ インパクト

世界中の研究者との協働により実現

卒業生等のネットワーク形成

ガバナンス改革の下、時代の変化に対応

国際共同教育プログラムを世界各地で提供

北大コミュニティと世界各地で協働

グローバル人材育成体制の確立

多文化キャンパスの実現

世界の課題解決をリードする人材が輩出

世界から集まる優秀な学生らとの共修

世界トップレベルの研究成果を教育に展開

世界が抱える課題の解決に貢献し持続可能な社会を実現

北海道大学創基 150 年

BEYOND

2026